

新型コロナウイルス感染に対する産科での感染予防対策について

香川県の周産期医療体制は非常に脆弱です。大都市と異なり、産科医療施設が少ないため、診療所、病院が連携して、それぞれの役割を果たすよう努めています。当院は総合周産期母子医療センターですが感染症指定医療機関ではありません。新型コロナウイルス感染妊婦さんが未確認のまま当院を受診されますと、香川県の周産期医療体制は大混乱に陥る恐れがあります。そのため、当院に通院・入院される方に以下のことをご理解頂きますようよろしくお願いいたします。

<外来・入院についての全般的なお願いとお知らせ>

1. 外来への受診の際に診察室に入るのはご本人のみです。付き添いの方は待合（廊下）でお待ち頂きます。症状がなくとも病院に来院される方はマスクを着用して頂くようお願いしております。「密閉」「密集」「密接」を避けるため付き添いの方もなるべく控えて頂きますようお願いいたします。
2. 入院中の面会は全面的に制限しております。入院後に手術や侵襲的な治療の可能性のある方は事前に外来で説明致します。急変時にはお電話で病状説明となることもあります。
3. 立ち会い出産もお断りしておりますので、ご承知下さい。新生児との面会も退院時となります。

<里帰り出産される方へ>

1. 遅くとも妊娠 31～32 週までには、ご実家に帰省してください。帰省直前に最終妊婦健診を受けておいて下さい。帰省後、2 週間、自宅待機として下さい。
2. 帰省しても 2 週間の自宅待機ができない状態、例えば子宮頸管長が短く早産兆候があり、2 週間以内に受診する必要がある場合は、里帰りをしてよいかどうか、今一度、かかりつけ産科医師にご相談ください。里帰りして来る方の中には、かかりつけ医師から「早産のリスクがあり、動きまわらないよう安静を指示されている」にもかかわらず無理して帰省される方がいます。そのような受診は絶対に控えて頂きますようお願い致します。
3. ご実家で 2 週間待機して発熱、咳などの体調の変化がないかどうかご注意ください。2 週間、体調の変化がないことが確認できてから当院を受診して頂きます。もし、コロナウイルス感染がご心配な症状(発熱・咳・臭いがしない)があれば、香川県の新型コロナウイルス相談センターにお問い合わせください。
4. 待機期間中に産科的症状、例えば子宮緊満感や性器出血などが見られた場合には、当院に一度、ご相談いただき、必ずマスクを着用の上、受診してください。感染対応用の診察室にご案内しますので駐車場から一度ご連絡下さい。